

住みごこち一番・可児 — 若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造



突然、クイズです。

あ かるく
い きいきと
う れしそうに
お もいやりの心で
お もしろく過ごしましょう
ってなあ～に？

答え
えがお

※「あ・い・う・え・お」の「え」が「お」になっています。

12月4日～10日は**第70回人権週間**です。

昭和23年(1948年)第3回国際連合総会で世界人権宣言が採択され、本年で採択70周年を迎えます。国際連合は、世界人権宣言の採択を記念して、採択日の12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に対し、人権擁護活動を推進するための各種行事を実施するよう要請しています。

法務省と全国人権擁護委員連合会は、「人権デー」を最終日とする1週間を「人権週間」と定め、人権尊重思想の普及高揚に努めてきました。本年も12月4日から12月10日までの1週間を「第70回人権週間」として、啓発活動を実施します。



目次

- 第70回人権週間 ①
- コーナー ④
- 主な後期活動計画・主な前期活動実績、特別寄稿 ... ②
- 「人権に関する市民意識調査」結果 ③
- 人権週間、ふるさとの心、ぬくもりまゆちゃん® 啓発のひかり

主な後期活動計画

11/4 「街頭啓発」

姫治ふれあいまつり
場所 姫治地区センター
時間 午前9時～



12/4～12/10 人権週間啓発活動

3/1 機関紙「ぬくもり」69号発行

特集：人権標語・小説 入選作品

11/9・11/15

「子どもぬくもり教室」

東明小学校（11月9日）
今渡北小学校（11月15日）
【ねらい】 子ども達が意思を持って、前向きに実践する態度を育てる。



11/22～12/11

観覧自由

人権標語・300字小説入賞作品展

場所 可児市図書館本館（1F）
時間 火～金 午前10時～午後7時
土・日 午前10時～午後5時



主な前期活動実績

5/17～12/19

人権本巡回(愛称:ブックス・フロー)スタート

心の醸成を目的として、人権に関する本を手軽に読んでもらえるよう小学校を2コースに分け約65冊(各コース)の本を学校で児童に貸し出す。

5/18 人権教育推進委員会(教育研究所主催)へ出席

各小中学校の人権教育代表教員(推進委員)の研修会で当センターの活動報告。

7/1 機関紙「ぬくもり」67号発行

特集：外国人入権

7/9～9/7

「第18回人権標語」・「第11回・300字小説」募集

投稿数 3,460 作品(過去最多)
内訳：標語 2,967 作品
300字小説 493 作品

8/1～8/15 市民人権意識調査

第9回目となる人権に関する意識調査を実施
※関連記事 P3

9/18～9/26 人権マンガ原画展

本センターのキャラクター「ぬくもりまゆちゃん一家」の4コママンガを市福祉センター・ホワイエに展示。



9/21 「外国人入権」講演会2018

テーマ 外国人と人権
講師 可児市国際交流協会
事務局長 各務眞弓氏
協力 可児市民生児童委員連絡協議会



10/14 街頭啓発活動

健康フェアにおいて(心の健康を大切に)



特別稿 「外国人と人権」

特定非営利活動法人可児市国際交流協会

事務局長

各務眞弓

なぜこの地域に多くの外国人が暮らしているのでしょうか？日本は、外国人の受け入れに厳しい国ですが、「人手不足の解消」のため入管法を改正し、新たな在留資格を作りました。かつて国策で移民として海外に渡った人たちの子孫を受け入れたのです。そして、「日本に行けば仕事がある」と信じて多くの日系人たちが、就労目的で来日してきました。製造業が盛んな可児市も「リカセキ」目的の日系人が来日し、やがて、家族、子どもを呼び寄せ、さらに在住外国人人口は増加しました。国は「労働力」として受け入れましたが、市は、「生活者」として受け入れることになりました。彼らは、納税者であり、地域の構成員として「定住化・永住化」していききました。これにより、教育、福祉、子育ての問題が起きてきます。ところが、リーマンショックの影響で、可児市でも人口の7.4%を占めていた外国人が、4%まで減少しましたが、近年は、経済の上昇とともに、微増が続きました。ふたたび7%に近づこうとしています。可児市は、「多文化共生推進計画」を策定し、外国人も市の構成員と捉え、安心安全なまちづくりを目指しています。お互いの文化背景を理解し、地域の構成員として、対等な関係づくりを目指しているのです。

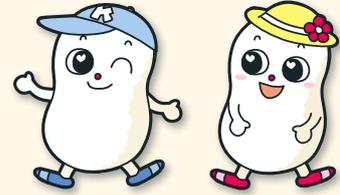
ところが、地域に暮らす外国人の多くは、まだまだ「制度の壁」「言葉の壁」「心の壁」を感じています。その壁をのり越えるため、「互いの文化的違いを認め合い、地域の構成員として対等な関係を構築し共に生きよう」という、多文化共生の理念を浸透させることが必要です。

入管法改正から28年、日本で生まれ育った子どもたちは、高校、大学に進学し、社会人となり、親となっています。さらなる法改正で、グローバル化は急速に進むと予想されます。人権保障のためには、法のもの「国民」が日本に暮らすすべての人々として捉える必要があります。

「人権に関する市民意識調査」結果

人権問題に係るより効果的な啓発活動や、適切な人権施策を推進するうえでの資料とするため、平成 26 年度に続き 9 回目となる「人権意識調査」を行いました。調査にご協力いただきありがとうございました。

- ①調査期間 平成 30 年 8 月 1 日～8 月 15 日
- ②調査対象者 1,000 人 (市内に居住する 20 歳以上の男女各 500 人)
- ③回答者数 男性: 187 名、女性: 225 名、不明: 3 名、計: 415 名
(回答率: 41.5% (男性: 37.4%、女性: 45.0%))



調査項目

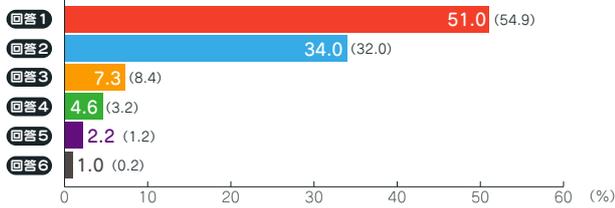
- ①男女差別 ②こどもの人権 ③いじめ ④高齢者 ⑤障がい者 ⑥同和問題 ⑦同和問題の解決 ⑧外国人(1) ⑨外国人(2)
- ⑩ HIV 感染者等 ⑪更生保護活動 ⑫インターネットによる人権侵害 ⑬ DV やセクハラ、パワハラによる人権侵害
- ⑭性同一性障害、性的指向をはじめとする性的少数者の人権 ⑮人づくり ⑯人権の尊重 ⑰性別・年齢

主な結果

質問 3 「いじめ」について

子どもたち同士の「いじめ」によって「仲間はずれ」にされたり、時には「自殺」にまで追いやられたりする事件が起きています。「いじめ」について、あなたのお考えに近いものを 1 つだけ選んでください。() 値: 前回値 (26 年度)

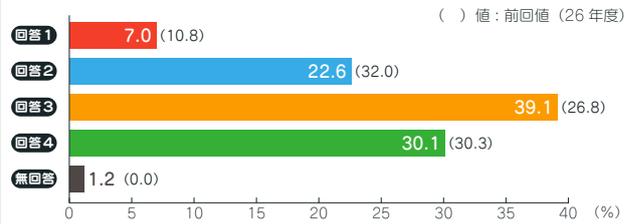
- 1. 「いじめ」は、人として許されない行為である。… 51.0 (54.9)
- 2. 「いじめ」は、人の心や体を傷つける行為であり、やめた方がよい。… 34.0 (32.0)
- 3. ひどい「いじめ」はよくないが、ささいなことなら気にしない方がよい。… 7.3 (8.4)
- 4. 「いじめ」を受ける子にも原因がある。… 4.6 (3.2)
- 5. わからない。… 2.2 (1.2)
- 無回答… 1.0 (0.2)



質問 8 外国人について

可見市には、多くの外国人が住んでいます。あなたは、外国人の日本での生活が、不利な取り扱いをされていると感じていますか。あなたのお考えに近いものを 1 つだけ選んでください。

- | | [26 年度値] | [22 年度値] | [18 年度値] |
|------------|-------------|----------|----------|
| 1. 感じる。… | 7.0 (10.8) | (12.9) | (19.6) |
| 2. 少し感じる。… | 22.6 (32.0) | (39.3) | (33.1) |
| 3. 感じない。… | 39.1 (26.8) | (22.6) | (20.3) |
| 4. わからない。… | 30.1 (30.3) | (25.1) | (27.0) |
| 無回答… | 1.2 (0.0) | (0.0) | (0.0) |

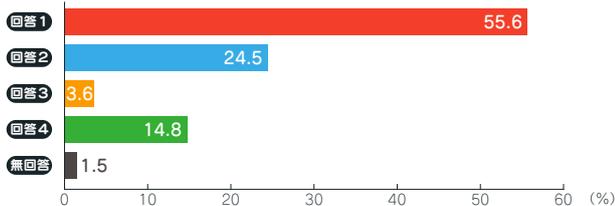


新項目

質問 14 性同一性障害、性的指向をはじめとする性的少数者 (LGBT) の人権について

LGBT (身体的な性と心の性が一致しない「性同一性障害」、「性的指向 (異性愛、同性愛、両性愛)」) の人権について、あなたの考えに近いものを 1 つだけ選んでください。

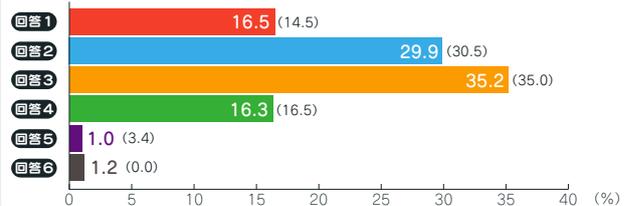
- 1. 知っているし、理解できる。… 55.6
- 2. 知っているが、理解できない。… 24.5
- 3. 知らないし、理解もできない。… 3.6
- 4. わからない。… 14.8
- 無回答… 1.5



質問 16 人権の尊重について

あなたは、日ごろの生活の中で、互いの違いを認め合い、相手の立場を尊重するなどの「人権の尊重」について身近に感じていますか。あなたの感じ方に近いものを 1 つだけ選んでください。() 値: 前回値 (26 年度)

- 1. 非常に身近に感じている。… 16.5 (14.5)
- 2. 少し身近に感じている。… 29.9 (30.5)
- 3. どちらともいえない。… 35.2 (35.0)
- 4. あまり身近に感じていない。… 16.3 (16.5)
- 5. まったく身近に感じていない。… 1.0 (3.4)
- 無回答… 1.2 (0.0)



考察 質問 8 (外国人について) 外国人の方が日本で不利な取り扱いをされていると「感じる」(回答 1)「少し感じる」(回答 2)と回答している人が前々々回 (18 年度)、前々回 (22 年度)、前回 (26 年度) とほぼ毎回減少し、「感じない」(回答 3)と回答している人が毎回増えています。その他の従来項目について、前回、前々回の調査と殆ど有意差はありませんでした。

※詳しい結果報告書は 12 月 1 日以降、各連絡所にありますので自由にお持ちください。(配布部数制限有) また、本センターのホームページにも掲載いたします。

みんなで築こう 人権の世紀

考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認め合おう

「第70回人権週間」強調事項

- ① 女性の人権を守ろう
- ② 子どもの人権を守ろう
- ③ 高齢者の人権を守ろう
- ④ 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑤ 部落差別等の同和問題に関する偏見や差別をなくそう
- ⑥ アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- ⑦ 外国人の人権を尊重しよう
- ⑧ HIV感染者やハンセン病患者等に対する偏見や差別をなくそう
- ⑨ 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- ⑩ 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ⑪ インターネットを悪用した人権侵害をなくそう
- ⑫ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ⑬ ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- ⑭ 性的指向を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑮ 性自認を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑯ 人身取引をなくそう
- ⑰ 東日本大震災に起因する偏見や差別をなくそう

皆さんもこの人権週間に身近なことから人権を考えてみませんか。

ふるさとのこころ

おそのさとタヌキ

むかし中切の里に、おそのさというおばあが、たつたひとりきりでくらしておった。
ただでさえ腰ががんで小さくみえるおばあは、いつそう背が丸うして、いつもにこにここと、坊んたを集めては、いろいろな話をきかせとつたそうじゃ。
「ひるのうちは、おれんたがおるでええが、夜さはひとりきりで、さみしいやらあう。」
みんなが心配していうと、
「なあに、おそがいことも、さみしいこともありやあせん。夜さは、いつも山からタヌキがきてくれるでなも。」
というて、けろつとひとりきりさせる。
坊んたは、目をまるくしてきいとつたということじゃ。
ある寒い冬の夜さ、雨の降る山道を、おそのさの家に用足しにいった五兵衛さは、ふと前を、一びぎのタヌキが、まるで人間のようにすたすたと歩いていくのを見たんじゃけな。
タヌキが、おそのさの家をトントンとたたくと、「おお、よおきたな。まっとたぞな。どつや、外は

ふるさととは私たちを生み、育てあげてくれた父や母のように、かけがえないものです。そのふるさと可児に伝わる「むかし話」は、わたしたちの心をあたたくはぐくんでくれます。
今回は帷子地区に伝わるお話です。家族で語り合ってみませんか。

雨が降りよおるか。と、中からおそのさの音がした。
「降りよおる、降りよおる。雨がぼよん、ぼよんと降りよおるわね。おばあ寒うてかなわんに、はよくなかへいれてくりよ。」
「おつさ。いまあけるに、はよ、はいつてこいの。」
どつこいしよ。おそのさは戸をあけると、タヌキを家の中へ入れたんじゃと。
びつくりした五兵衛さは、もう用足しもなにもけろつとわすれて、戸のすき間から中をのぞくと、くどの火があかあかともえる下台所で、おそのさとタヌキがこたつにあたり、なんやらおもしろそうにはないておつたそうじゃ。
「おそのさは、タヌキと酒をのんでござつたんな。」
「おつ、わしも見たぞな。おそのさとタヌキが、なかようもちをくつておりました。」
こうして、うわさは村じゅうの人に伝わった。
日が暮れると、山ぎわにある、おそのさの家には、いつまでも、ほつとつすあかりがもれておつたげな。
(可児のむかし話「可児町民話の会」より)

まゆちゃん 28

作・画:miho/原案:m-h & y-m

「素直な心」



(センター職員による作品です)

「啓発のむかし」

★人権とは、わたしたちが幸せに生きるための権利です。

★日本国憲法で、基本的人権は、国民主権、平和主義とともに三大原則のひとつとし最大の尊重を必要とされるとても大切な権利で、自由、平等、安心が全ての人に保障されています。

★私たちは互いに相手を尊重し合いながら、人間としてかけがえない人生を、心豊かに幸せにすごせることが大切だと思います。

本センターでは、「はぐくもう 思いやりの心」をスローガンとして、人権にかかわる今日的課題を敏感に受け止め、市民一人ひとりが、ぬくもりと思いやりの心を持ち、人権を正しく学び、豊かな人間関係をつくる

人権教育・人権啓発により、人権問題への理解の向上と人づくりを進めてまいります。

(編集者)